

第1学年 社会

1 学習のねらい

学習のねらい	地理的分野 ○さまざまな社会のできごとに関心を持てるようにする。 ○地理的な事柄について、広い視野に立って多面的・多角的にとらえ、身近なものに関連づけて考える力をつける。 ○資料・地図を適切に活用する力を養う。 ○日本の国土や世界の国々に対する理解を深める。	歴史的分野 ○歴史とは、自分たちと同じ人が作りだしたものであるととらえ、身近なものとして関心を持てるようにする。 ○歴史的な事柄について多面的・多角的にとらえ、身近なものに関連づけて考える力をつける。 ○史料を適切に読みとり、その内容について考える力を養う。 ○日本・世界の歴史に対する理解を深める。
使用教材	教科書：中学生の地理（帝国書院） 地図帳：中学校社会科地図（帝国書院） ＜補助教材＞ 資料集：四日市市・三重郡全図（三河社会科研究協議会）、ワーク：アクティブ地理 総合（浜島書店）、地理の学習（浜島書店）、学習の達成 地理1（新学社）	教科書：新しい社会 歴史（東京書籍） 地図帳：中学校社会科地図（帝国書院） ＜補助教材＞ 資料集：つながる歴史（浜島書店） 四日市市・三重郡遺跡地図（三河社会科研究協議会）、ワーク：学習整理 歴史1（学宝社）、基礎をきずく歴史1（浜島書店）

2 評価の観点および方法

	評 価 の 観 点	評 価 の 方 法
①社会的事象への関心・意欲・態度	・忘れ物をせず、授業に積極的に取り組んでいるか。 ・意欲的に発言したり、作業に取り組もうとしたりしているか。 ・ノートを工夫して書いているか。 ・学習の準備や課題を期日までに提出しようとしているか。 ・日頃のニュースや時事問題など、世の中の動きに関心をもっているか。	・準備物の状況 ・授業中の発言、作業活動の態度 ・小集団（4人班）活動への参加態度 ・課題や提出物の状況 ・定期テスト「関心」の問題
②社会的な思考・判断	・事実を結び付けたり、予想したりすることで、筋道を立てて正しく判断することができるか。 ・自分の考えを地理用語や歴史用語を適切に使って、理論的にまとめることができるか。	・授業中の発言内容 ・定期テスト「思考」の問題 ・ノートやプリントの記述内容 ・夏休みの課題研究や新聞スクラップの内容
③資料活用の技能・表現	・地図や統計、図表や史料などの資料の中から必要な情報を適切に読み取ることができるか。 ・資料から読み取ったことをもとに、適切な判断をして、考察した結果をわかりやすく文章にまとめたり、発表したりすることができるか。	・授業中の発言内容 ・授業中の資料活用の様子 ・定期テスト「資料活用」の問題 ・ノートのまとめ方 ・夏休みの課題研究や新聞スクラップのまとめ方
④社会的事象についての知識・理解	・地理や歴史の基本的な事項や用語を理解し発言や感想文などで正しく使うことができるか。 ・ひとつひとつの社会的な事象を関連づけて理解することができるか。	・授業中の発言内容 ・ノートやプリントの記述内容 ・定期テスト「知識・理解」の問題

3 学習計画

	各単元と主な学習内容	観 点 別 評 価 の 具 体 例
一学期	地理的分野 第1部 世界のさまざまな地域 第1章 世界の姿 地球、大陸と海洋 世界の国の名前や位置 緯度と経度 地球儀と世界地図、略地図	・世界のさまざまな地域の基本的な枠組みについて関心を持ち、意欲的に追究することができる。【関心】 ・地球儀と世界地図の違いとその適切な利用方法について考察することができる。【思考】 ・地球儀や地図の基礎的な活用の仕方を身につけている。【資料】 ・世界の地域構成に関する基礎的な知識を身につけている。【知識】

一 学 期	第2部 日本のさまざまな地域 第4章 身近な地域の調査 地域を調べるテーマ、方法 地図の見方	・身近な地域に対する関心を持ち意欲的に取り組んでいる。【関心】 ・地形図から必要な情報を読み取ることができる。【思考】 【知識】 ・地図や統計資料などを的確に読み取り、活用する【資料】 （「四日市市・三重郡全図」をつかいこなす。
	第1部 世界のさまざまな地域 第2章 世界各地の人々の生活と環境	・世界各地の生活や食文化などの違いに関心を持ち、意欲的に追求できる。【関心】 ・世界各地の人々の生活を、気候などの環境の違いと関連付けながら考察することができる。【思考】 ・写真やグラフなどの資料を活用し、まとめることができる。【資料】 ・世界の人々の生活や環境の多様性を理解することができる。【知識】
	第3章 世界の諸地域 アジア州 ヨーロッパ州 アフリカ州 南北アメリカ州 オセアニア州	・世界の各地域で暮らす人々の生活の様子に関心を持ち、意欲をもって取り組んでいる。【関心】 ・世界の諸地域の特色を、設定されたテーマに基づいて、人々の生活の様子とその地域の自然や社会的要因、歴史などと関連付け、考えることができる。【思考】 ・写真やグラフなどの資料から各地域の特色や課題などを正しく読み取り、わかりやすく文章にまとめることができる。【資料】 ・それぞれの地域の地域的特色を理解することができる。【知識】
二 学 期	歴史的分野 第1章 歴史のとらえ方	・日本の歴史の流れや時代の特色に関心を持ち、意欲をもって取り組んでいる。【関心】 ・古代の歴史の流れや地域の歴史に対する関心を持ち、意欲的に取り組むことができる。【関心】 ・人類の起こりから古代国家の形成に至る過程における課題を見つけ、自分の考えをまとめることができる。【思考】 ・古代の各時代や地域の文化の特色について、史料から読み取ることができる。【資料】 ・人類誕生から平安時代までの基本的知識を身につけている。【知識】
	第2章 古代までの日本 1 文明のおこりと日本の成り立ち 2 古代国家のあゆみと、東アジア世界	
三 学 期	第3章 中世の日本 1 武士の台頭と鎌倉幕府 2 東アジア世界とのかかわりと 社会の変動	・武家政治や民衆の成長を背景とした社会や文化について関心を持ち、意欲を持って取り組んでいる。【関心】 ・武士が台頭して武家政権が成立し、その支配が次第に全国に広まる中で発生した様々な課題について考察できる。【思考】 ・武家支配の広まりとともに密接になってゆく、東アジア世界とのかかわりについて考察することができる。【思考】 ・農業など諸産業の発達、都市や農村における自治的な仕組みの成立について、考察できる。【思考】 ・鎌倉幕府の成立、南北朝の争乱と室町幕府、応仁の乱後の社会的な変動などを通して、武家社会が成長していく過程をさまざまな資料から読み取ることができる。【資料】 ・中世日本の社会や文化について基本的知識を身につけている。【知識】

4 学習方法についてのアドバイス

学習方法	学 校	・チャイムが鳴るまでに教科書を開いて、授業の準備をして、着席しておこう。 ・授業中は、説明や意見をよく聞いて自分の考えをもつこと。わからないことは質問しよう。少人数（4人組）での話し合い活動や作業に積極的に取り組もう。 ・ノートは、黒板に書いたことだけではなく、先生の言ったことなども工夫してまとめよう。 ・資料や地図、グラフを見てわかったことや、自分の考えを積極的に発表しよう。 ・課題やワーク等の提出物の期日はしっかりと守ること。
	家 庭	・授業で学習したところは、ふだんからワークで復習しておこう。（ワークは2回以上やるようにするとよい。） ・定期テスト前には、教科書をしっかり読み直すとともに、ワークで繰り返し復習しよう。 ・わからないところやさらに深く知りたいところは、資料集・教科書などを使って調べよう。 ・日頃から、社会的なものを含むテレビや新聞、本などに接して、社会に関する関心を深めよう。

